

平成 29 年 10 月 18 日

各 位

会 社 名 F r i n g e 8 1 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 田 中 弦  
(コード番号：6550 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 川 崎 隆 史  
( TEL. 03-6869-6681)

### 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 18 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 6 月 27 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,411	百万円 23	百万円 20	百万円 15	円 銭 6.49
今回修正予想 (B)	2,762	44	37	23	9.73
増 減 額 (B-A)	351	20	16	7	
増 減 率 (%)	14.6	85.8	78.2	50.8	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	-	-	-	-	

#### 2. 業績予想修正の理由

当社の主要事業領域であるインターネット広告市場において、スマートフォン広告を中心に旺盛な需要を取り込むことができ、売上高成長につながりました。特にメディアグロスサービスにおいて支援している広告媒体の販売に注力したことで、メディアグロスサービスにおいて媒体社より受領するレベニューシェアが増加するとともに、これら広告媒体を当社が自ら販売する広告代理サービスにおいて広告主より受領する広告代理マージンの増加につながりました。レベニューシェアと広告代理マージンの双方を獲得できる広告案件が増加したことで、売上高の成長に寄与しております。また、平成 29 年 6 月 29 日に正式リリースした従業員同士が日頃の成果に対して成果給と賞賛の言葉を同時に送りあう HR テックサービス「Unipos」については、全社業績に対する売上高の寄与は限定的ながら、堅調な立ち上

がりを見せており、導入社数を順調に増やしております。費用面においては、引き続き「キワ」の事業を生み出す人材を獲得すべく、競争の激しい人材業界において積極的な採用活動、投資を行いました。

以上の結果、平成30年3月期第2四半期（累計）（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の業績は、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれにおいても、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、第3四半期以降においては、季節性の存在や、事業環境、経済動向などの不確実性に鑑み、通期業績修正を行っておりません。

（注）上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上